フィンランドに学ぶ

フィンランドについて多くの情報がある。

昨年度、研修で学校経営者の話を聞いた。印象に残ったのいくつかのことを書く。

(聞き間違い、表現の違いがあったらお許しを)

○先生

- ・評価されない、尊敬される、強力な組合
- ・授業しかない
- ・ Learning and teaching
- ・先生仲間を信頼しているか、協力共有できているか、励まし合っているか

○夏休み

- ・ 10weeks summer vacation
- ・宿題なし

○授業

- ・ 5~6h/day
- ・ 192day/year

○子どもが学ぶ学校

- ・地元の学校
- ・学校選びの心配なし

○カリキュラム

- ・急激な時代の変化への対応があるか、どう開発していくか

○勉強

- ・テストのため、学校のため、家族のため

○smart-media easy-access

- ・暗記が減る、情報をいかに活用するかが大切

○身につけてほしい力

critical creative cooperative curiously innovation package
enterplize media-literacy effective-speaking effective-writing
global-solution information-literacy

欧米にあるように、教員という職業は完全な分業なのかもしれない。部活なんて想定外、とにかく授業が命。しかし、先生方の協働、学び続ける意欲は凄いものがありそうだ。

資源、人口が少ない国の生き残りが感じられる。また、良質な教育を家計の負担を減らすためか、地域の学校を大切にしているというか、地域の学校が当たり前の雰囲気が感じられる。

学力テストの成績が高いからフィンランドから学ぶのではなく、少々成績が変化しても真に良いところは時間がかかっても取り入れていきたいものだ。